

# 中国四国教育学会第 73 回大会報告

中国四国教育学会事務局

〒739-8524 東広島市鏡山 1-1-1

広島大学大学院人間社会科学研究科教育学講座内

cssse@hiroshima-u.ac.jp

2021年11月27日（土）、28日（日）の両日、山口大学を大会会場に中国四国教育学会第73回大会をオンライン形式で開催することができました。ご参加いただいた多くの会員の皆様に御礼を申し上げますとともに、会場校をお引き受けいただいた大会実行委員会委員長の福田修先生をはじめ熊井将太先生、田中智輝先生、猫田和明先生、原田拓馬先生の実行委員の先生方、そして実務的に大会を支えていただいた院生や学生の皆様に深甚の感謝を申し上げます。また、山口大学教育学部長の鷹岡亮先生には、スタジオ形式でのシンポジウムにご登壇いただくとともに総会でも学会を励ましていただくご挨拶をいただきました。あらためて感謝を申し上げます。

「新型コロナ」への対応で、多くの学会がオンライン形式での開催を余儀なくされてきております。中国四国教育学会も、大会校を引き受けいただいた山口大学の実行委員会を中心に学会事務局と大会の開催のあり方をめぐって議論を重ねながら、何より学会員の研究発表の機会を保障することを第一に、従来通りに、会場校が企画するシンポジウム及び自由研究発表の部会、そしてラウンドテーブルという3つの枠組みで大会を開催していただけたことに心より感謝を申し上げます。また、昨年度は掲示板での発表であった自由研究発表の場を、今回は業者の支援を取り入れたZoomを使っての同時双方向でのやりとりの場になったことは何よりでした。多くの会員の皆様にご発表いただき、各部会で司会の先生を中心に会員相互の質疑応答も活発に行っていただき、研究交流を深めていただく機会になったことに安堵しております。なお、業者の選定から大会前のZoomのテスト等の準備、大会当日の支援等で学会事務局の皆様にご尽力いただいたことに感謝を申し上げます。

今大会は、二日間にわたり20部会で139件の自由研究発表が行われました。オンラインへの登録者数は250名でした。ラウンドテーブルは2件行われました。大会1日目の午後に開催されたシンポジウムはスタジオ形式で行われ、オンラインで97名のご参加をいただきました。ゲストとして先に述べた鷹岡先生のほかに指定討論を引き受けいただいた子安潤先生（中部大学）には、山口大学まで足を運んでスタジオ入りしていただき、貴重なコメントで学会の研究活動を刺激していただきました。あらためて感謝を申し上げます。おかげで、スタジオとオンラインでの参加者との活発な議論を行うことができたかと思えます。

今回は、大会前日に行われる理事会や大会第1日目の総会についても、オンライン形式で行うことができました。総会において、次年度2022の第74回大会は香川大学を会場として開催されることが承認され、香川大学の山岸知幸先生よりご挨拶をいただきました。次の大会こそは従来の対面型で行われ、昨年に引き続き今回も行うことができなかつた会員懇親会の席上で皆様とお会いできることを切に願っております。

【会長・深澤広明】

## ○自由研究発表・シンポジウム・ラウンドテーブル

大会 2 日間を通して、計 20 部会で 139 件（取消 6 件を除く）の自由研究発表が行われ、各部会において活発な議論が交わされました。

大会 1 日目の午後に設けられたシンポジウムは、97 名の参加者がありました。司会の熊井将太崇氏（山口大学）により趣旨説明がなされた後、鷹岡亮氏（山口大学）より「ポストコロナにおける EdTech の可能性と限界について～ ICT を活用した豊かな学びのデザインを目指して～」、草原和博氏（広島大学）より「越境的対話による教科教育の教室空間の変容－社会科を例に－」、田中智輝氏（山口大学）より「コロナ禍は教育にどのような問いをもたらしたのか－全国一斉休校下の実態調査をてがかりに－」という題でご発表いただきました。続けて子安潤氏（中部大学）より指定討論を「学びと生活の豊かさの探究へ」という題でご発表いただきました。

大会 2 日目の午後には、2 件のラウンドテーブルが開催されました。ラウンドテーブル 1 は「人口減少社会における学校の戦略－熊本、茨城、島根の学校の取り組みから－」、ラウンドテーブル 2 は「自己調整学習者を育成するサポートガイドの開発－教科の特性を活かした自己調整学習ツールとして－」というテーマで開催されました。ラウンドテーブル 1 は「課題研究」の成果に位置づくものであります。

## ○理事会・総会報告

理事会は、大会前日の 11 月 26 日（金）18 時から Zoom にてオンラインで開催され、役員 10 名と会計監査 1 名、事務局幹事 3 名が出席し、総会に提出する事項についての審議等が行われました。

総会は、大会 1 日目に開催されました。教育学部長鷹岡亮先生よりご挨拶をいただいた後、議長団（福田修氏<山口大学>、小川佳万氏<広島大学>）による進行のもとで、事務局から各種報告が行われました。続いて 2020 年度決算報告・会計監査報告、2021 年度予算案・中間決算報告、次年度大会校についての審議がなされ、全て原案通りに承認されました。総会の進行は以下のとおりです。

### 中国四国教育学会・総会

1.	大会校 学部長挨拶	(山口大学教育学部長	鷹岡 亮)
2.	会長挨拶	(会 長	深澤 広明)
3.	大会校挨拶	(実行委員長	福田 修)
4.	議長団選出	(事務局長	山田 浩之)
5.	報告事項		
	(1) 事業・会議報告	(事務局幹事	山田 浩之)
	(2) 研究推進事業報告	(事務局幹事	山田 浩之)
	(3) 編集委員会報告	(編集委員長	曾余田浩史)
6.	審議事項		
	(1) 2020 年度決算報告・会計監査報告	(事務局幹事	山田 浩之)
		(監 査	白石 崇人)
		(監 査	牧 貴愛)
	(2) 2021 年度予算・中間決算報告	(事務局幹事	山田 浩之)
	(3) 次年度大会開催校	(会 長	深澤 広明)
	(4) その他		
7.	議長団解任	(事務局長	山田 浩之)
8.	閉会の辞	(事務局長	山田 浩之)

## ○次年度大会のお知らせ

次年度の第 74 回大会は、令和 4 年秋に香川大学を会場として開催される予定です。詳細は年度明けにご案内します。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

## 2020年度決算報告

## 2020 年度決算報告

2020年4月1日～2021年3月 31 日

## 《収入》

項目	予算	決算	決算-予算
学会費	3,820,000	3,294,000	▲ 526,000
内訳：2020年度（5,000円）	563名： 2,815,000	509名： 2,544,000	▲ 271,000
2021年度以降（5,000円）	114名： 570,000	82名： 410,000	▲ 160,000
過年度（5,000円）	87名： 435,000	66名： 330,000	▲ 105,000
除籍分		1名： 10,000	10,000
『教育学研究紀要』（CD-ROM版）掲載費	555,000	610,000	▲ 55,000
内訳：個人研究（5,000円）	98件： 490,000	101件： 505,000	
共同研究（5,000円）	13件： 65,000	21件： 105,000	
その他収入	8,870	25,018	16,148
内訳：預金利子	70	42	▲ 28
CD-ROM・ジャーナル売上	8,800	8,280	▲ 520
上記以外	0	16,696	16,696
収入合計	4,383,870	3,929,018	▲ 564,852
前年度繰越金		7,761,349	
収入（繰越金含む）	12,145,219	11,690,367	▲ 454,852

## 《支出》

項目	予算	決算	予算-決算
第72回大会経費	630,000	414,275	215,725
内訳：会場校補助金	260,000	260,000	0
会場使用料	0	0	0
プログラム印刷費	170,000	154,275	15,725
シンポジウム要旨集印刷費	60,000	0	60,000
会議費	140,000	0	140,000
『教育学研究ジャーナル』刊行費	1,504,230	1,002,089	502,141
内訳：印刷・J-STAGE掲載経費	680,000	770,572	▲ 90,572
会議費	352,230	18,517	333,713
編集作業人件費	40,000	15,000	25,000
委託費（査読サポート運用）	432,000	198,000	234,000
『教育学研究紀要』（CD-ROM版）刊行費	437,500	453,980	▲ 16,480
内訳：CD-ROM制作費	360,000	365,200	▲ 5,200
冊子体制作費	7,500	5,280	2,220
編集・校正作業人件費	70,000	83,500	▲ 13,500
研究推進費	300,000	200,000	100,000
内訳：「課題研究」助成金（100,000円/件）	3件： 300,000	2件： 200,000	100,000
ラウンドテーブル・会議費	0	0	0
事務局会議費（理事会等、事務局会議等）	147,780	0	147,780
事務局旅費	23,620	5,620	18,000
封筒印刷費	60,000	24,750	35,250
通信発送費	320,000	252,080	67,920
会長選挙実施関連経費			0
振込手数料負担金	100,000	95,016	4,984
事務局人件費（含源泉徴収税、労災保険料）	832,550	871,218	▲ 38,668
消耗品費	80,000	27,786	52,214
予備費（銀行振込手数料・労災保険料等）	50,000	14,395	35,605
支出合計	4,485,680	3,361,209	1,124,471

## 【次年度繰越金】

収入－支出＝11,690,367－3,361,209＝ 8,329,158 （次年度繰越金）  
純収入－純支出＝3,929,018－3,361,209＝ 567,809 （純利益）

※前年度繰越金について、2019年度決算時に2020年度への繰越金は7,755,945円と記載されていたが、内5,404円が記載漏れであったため、計上した。

## 寄 贈 図 書

(2020.12.01～2021.11.30)

### ○図書

なし

### ○紀要・ニュースレターなど

- ・『京都教育大学大学院連合教職実践研究科年報』第 10 号、京都教育大学大学院連合教職実践研究科、2021 年 3 月
- ・『東北教育学会研究紀要』第 24 号、東北教育学会、2021 年 3 月 6 日
- ・『教育学雑誌』第 57 号、日本大学教育学会、2021 年 3 月 25 日
- ・『中部教育学会紀要』第 21 号、中部教育学会、2021 年 6 月 30 日
- ・『関西教育学会研究紀要』第 21 号、関西教育学会、2021 年 8 月 31 日